

# 身体運動文化フォーラム

第2号

## Human Movement Arts Forum

身体運動文化フォーラム第2号発刊にあたり 会長 ▶ 溝畑 寛治

ネオポルターレ思想の時代  
—語らない身体からの訣別—

—The Neoportare-Thought Age : Awakening from the Silent Body— ▶ 伴 義孝

ノーサイドの精神に学ぶ人間力  
～真のラグーマン・真のスポーツマンを目指して～ ▶ 溝畑 寛治

実践報告:テーマ・プロジェクト「健康福祉文化と生活設計」▶ 井上 直美  
久保 夏美  
信保 友美  
津崎 智之  
野村 健太  
浜崎 祐輔  
藤井 歩美  
藤田 貴文  
前田 晴子  
宮山 博久

〔2006年度 卒業論文〕

スポーツマンシップの問題と競技スポーツの「内」と「外」  
—川谷茂樹「スポーツ倫理学講義」の受講ノート— ▶ 稲垣 将明

認知症の現状と家族の在り方 ▶ 木下 真緒

〔2006年度 卒業論文 抄録集〕

## 身体運動文化フォーラム 第2号 目次

身体運動文化フォーラム第2号発刊にあたり	会長 溝畑 寛治	1
ネオポルターレ思想の時代 ー語らない身体からの訣別ー ーThe Neoportare-Thought Age : Awakening from the Silent Bodyー	伴 義孝	2
ノーサイドの精神に学ぶ人間力 ～真のラグーマン・真のスポーツマンを目指して～	溝畑 寛治	37
実践報告：テーマ・プロジェクト「健康福祉文化と生活設計」		63
井上 直美、久保 夏美、信保 友美、津崎 智之、野村 健太 浜崎 祐輔、藤井 歩美、藤田 貴文、前田 晴子、宮山 博久		
〔2006年度 卒業論文〕 スポーツマンシップの問題と競技スポーツの「内」と「外」 ー川谷茂樹『スポーツ倫理学講義』の受講ノートー	稲垣 将明	73
認知症の現状と家族の在り方	木下 真緒	105
〔2006年度 卒業論文 抄録集〕		127

## 関西大学身体運動文化学会会則

- 第1条 本会は関西大学身体運動文化学会と称し、事務局を関西大学文学部内に置く。
- 第2条 本会は身体運動文化に関する研究を行い学術の振興を図り研究成果を社会に還元する。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 機関誌『身体運動文化フォーラム』の発行
  - (2) 学会大会，研究会，講演会等の開催
  - (3) 関連機関との連携事業
  - (4) その他必要と認められる事業
- 第4条 本会の会員は関西大学文学部総合人文学科身体運動文化専修の教員並びに学生及び本会の趣旨に賛同する者をもって構成する。
- 第5条 学生会員は会費として「12000円」を納入する（在学期間一括納入）。その他の会員は年会費「3000円」を納入する。
- 第6条 会員は機関誌『身体運動文化フォーラム』の配布を受け、本会の行う事業に参加することができる。
- 第7条 本会に次の役員を置く。その任期は1年とし再任を妨げない。
- (1) 会長1名
  - (2) 副会長1名
  - (3) 会計1名
  - (4) 委員若干名
  - (5) 監事2名
- 第8条 会長，副会長は，総会で選出する。
- 第9条 会長は会務を統括する。副会長は会長を補佐し，会長に事故あるときは，代わって会務を統括する。
- 第10条 監事は，会長がこれを委嘱し，会務並びに会計を監査する。
- 第11条 委員は本学専任教員及び会員の中から会長が委嘱する。
- 第12条 委員は編集及び庶務を分掌する。
- 第13条 会長は毎年1回総会を招集し会務を報告する。
- 第14条 総会は全会員で構成する。総会の任務並びに成立条件については別にこれを定める。
- 第15条 本会の事業遂行に要する費用は会費その他で充当する。
- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり，翌年3月31日に終わる。
- 第17条 会則の変更は総会の決議による。
- 付 則 この会則は2004年4月1日から施行する。

## 身体運動文化投稿規定

1. 本誌に投稿できるのは原則として関西大学身体運動文化学会会員とするが、会員の推薦によって非会員も投稿することができる。編集委員会による依頼論文を除き非会員の論文を掲載する場合は、投稿者が掲載に必要な実費を負担する。
2. 投稿内容は、身体運動文化の研究領域における総説、原著論文、実践研究、事例報告、研究資料、書評、内外の研究動向、研究上の問題提起、論評などとし、完結した未発表のものであり、他誌に投稿中でないものに限る。
3. 原稿の掲載可否および掲載の時期は、本誌編集委員会において決定する。
4. 本誌に掲載された原稿は、原則として返却しない。
5. 原稿は、原則としてワードプロセッサ（Microsoft Word）で作成するものとし、A4判横書き、1ページ全角40字20行の設定とし、印刷物とファイルを提出する。（手書きの場合は400字詰横書き原稿用紙に黒インク書きとする。）本文は現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合は、カタカナにする。原稿にはページ番号をつける。
6. 原稿（総説、原著論文、実践研究、事例報告、研究資料）は、1篇につき、表紙、英文抄録の和訳を除き図表、抄録、引用文献、注等を含めてワードプロセッサ使用で23枚（400字詰原稿用紙で46枚）以内とする。図表は、大きさにかかわらず、1点あたり全角600字として計算する。その他（書評、内外の研究動向、研究上の問題提起、論評など）の場合は、全てを含めてワードプロセッサ使用で5枚（400字詰原稿用紙で10枚）以内とする。
7. 計量単位は、原則として、国際単位系（SI）とする。
8. 図表は刷り上がり3ページを超えた場合や、図表の印刷に特別の費用を要した場合にはその費用を投稿者が負担する。
9. 挿図原稿は、図中の文字や数字が直接印刷できるように、きれいにはっきりと描く。写真は白黒の鮮明な画像のものとする。
10. 図や表には、それぞれに通し番号とタイトルをつけ、1枚ずつ台紙か原稿用紙に貼り、本文とは別に番号順に一括して掲載する。図表の挿入個所には、欄外にそれぞれの番号を朱記する。
11. 本文中での文献の記載は、原則として著者・出版年を記入し、文献リストは、本文の最後に一括掲載する。引用および注記の詳細は別に定める。
12. 総説、原著論文、実践研究、事例報告、研究資料の原稿の題目には、必ず別紙として、欧文（原則として英語）による題目も添える。
13. 提出する原稿は、オリジナル原稿と投稿者名および所属機関名を削除したコピー3部の合計4部とする。原稿の標題のページには（1）総説、原著論文、実践研究、事例報告、研究資料などの別、（2）和文欧文それぞれによる3ないし5語のキーワードを明記する。
14. 掲載論文の別刷を希望する投稿者は、校正のときに、その必要部数をゲラ刷の表題のページに朱記する。ただし、この場合の実費は全額投稿者の負担とする。
15. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学身体運動文化学会に帰属するものとする。
16. 投稿論文はE-mail等で下記に送付する。

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学 文学部 雑古研究室気付  
 TEL：06-6368-1121（大代表）  
 E-mail：zako@kansai-u.ac.jp

## 『身体運動文化』執筆申し込み要領

1. 申し込み, 原稿送付, 問い合わせ先  
郵便: 564-8680吹田市山手町3-3-35  
関西大学文学部気付『身体運動文化』編集委員会  
e-mail: zako@kansai-u.ac.jp
2. 執筆申込期限  
毎年11月15日
3. 原稿送付期限  
翌年1月末日(厳守: 3月15日発刊予定)
4. 現行の規格
  - 1) A4判, 横書き
  - 2) 日本語の場合40字×20行
  - 3) 英文の場合80(半角)文字×20行
5. 原稿の種類と枚数制限
  - 1) **総説, 原著論文, 実践研究, 事例報告, 研究資料**: 上記規格の用紙で23枚以内  
(日本語で執筆する場合には上記規格で半ページ程度の英語レジュメを添えること)
  - 2) **書評, 内外の研究動向, 研究上の問題提起, 論評**: 上記規格の用紙で10枚以内
  - 3) **新刊紹介, エッセイ**: 上記規格の用紙で2枚以内
6. 原稿送付の際の注意点
  - 1) 完全原稿とともに, 原稿データファイルを提出のこと  
掲載原稿は原則として返却しないため, 返却を要するものはその旨明記すること
  - 2) 原稿データファイルは, フロッピーの形で郵送するか添付ファイルの形で電子メールにて送付すること
  - 3) 原稿データファイルは, 発送日, 所属, 氏名をファイル名とし, Microsoft Wordファイルに保存して送付すること  
例) 20040401関西大学雑古哲夫.doc

## 執筆者紹介（掲載順）

---

伴 義孝	関西大学教授	浜崎 祐輔	関西大学学生
溝畑 寛治	関西大学教授	藤井 歩美	関西大学学生
井上 直美	関西大学学生	藤田 貴文	関西大学学生
久保 夏美	関西大学学生	前田 晴子	関西大学学生
信保 友美	関西大学学生	宮山 博久	関西大学学生
津崎 智之	関西大学学生	稲垣 将明	関西大学学生
野村 健太	関西大学学生	木下 真緒	関西大学学生

## 編集後記

---

平成19年2月17日（土）、図書館ホールで第1回関西大学身体運動文化学会の研究発表会「関西大学身体運動文化フォーラム」を下記の通り行うことが出来た。このことは、関西大学学生諸君における身体運動文化研究の第一歩を踏み出したということにほかならない。

今後、ますます充実した研究発表が期待できそうである。

### 【関西大学身体運動文化フォーラム】

司会：田村典子

1. 挨拶 身体運動文化専修代表 溝畑寛治
2. 基調講演：『ネオポルターレ思想の時代』  
身体運動文化専修教授 伴 義孝
3. 一般発表： 座長：三浦敏弘
  - ①『スポーツの「内」と「外」ースポーツマンシップに基づいて考察するー』  
文学部4年生 稲垣将明
  - ②『認知症の現状と家族のあり方』  
文学部4年生 木下真緒
  - ③『2006年度活動報告』文学部テーマプロジェクト「健康福祉文化と生活設計」  
文学部3年生 井上直美、久保夏美  
信保友美、津崎智之  
野村健太、浜崎祐輔  
藤井歩美、藤田貴文  
前田晴子、宮山博久  
(指導教員：安田忠典)
4. 関西大学身体運動文化学会総会と総括挨拶  
溝畑寛治

身体運動文化フォーラム 第2号  
2007年3月31日 発行

---

### 【編集委員】

雑古 哲夫  
三浦 敏弘  
安田 忠典

---

### 【編集兼発行者】

関西大学身体運動文化学会  
吹田市山手町3-3-35  
関西大学身体運動文化研究室内  
TEL (06)6368-1121  
FAX (06)6368-1268

---

### 【印刷所】

あさひ高速印刷株式会社  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀2丁目1-13  
TEL (06)6448-7521(代)  
E-Mail : asahi@ag-media.co.jp